



宮町自治会の会議風景。みんな真剣なまなざし。

## 宮町自治会 助け合いの会



この地域で  
孤独死を出さない——

宮町自治会  
三森 薫 会長

平成28年3月、前々自治会長が始めたのをきっかけに年2回必ず会議を開いています。自治会長、班長、民生委員のほか、地域包括支援センターや地域の障害福祉を担うNPO法人も手伝ってくれています。

地域の課題はやはり高齢化。若い人がいないわけではありませんが、高齢者同士が互いに助け合う体制を作っています。今年9月には、配慮が必要な人をどのように助けていけるか、会議を開きました。その中では、参加者からの情報提供で「気付き」が生まれ、実際に専門機関へつなぎ、問題に対処できた事例もあります。地域支え合い推進員の支援をこれからも受けながら、地域での助け合いを広げたいです。

## 畑下自治会 地域住民助け合いの会

負担にならず  
できる範囲で——

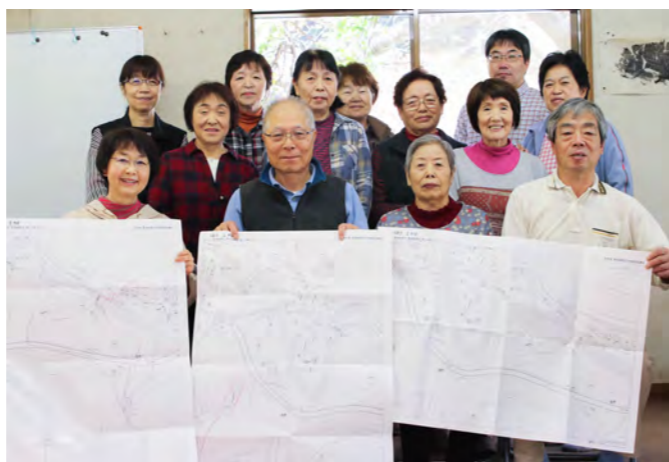


君島 恵子 さん

平成28年2月の発足から3年半が過ぎ、地域に定着してきたかなと感じています。

年2回の会議には、誰でも出席できるよう回覧でお知らせをして、毎回10~15人くらい集まってくれています。見守りの地図を広げて情報交換する中でいろいろな話が出てきます。地域の危険箇所や、地域の人々の近況が分かり、とてもいい機会となっています。

この地域も子どもが少なくなり、高齢者が増え、住民が減ってきたことが課題。でも、畑下はやるとなったら積極的にやる地域です。今後もみんなができる範囲で、元気に助け合って、この活動を続けていきたいと思っています。



畑下自治会で作成している見守りマップ。会議のたびに内容を追加し、地図に落とし込む。



# 見守りでつなぐ

## 地域の顔と顔

高齢化が進み地域の人口が減る中、高齢者の「見守り」に取り組む地域があります。地域で、みんなで支え合うために必要なものは？ 塩原地区と黒磯地区にある二つの自治会を取材しました。

### 秘訣は「ながら見守り」

地域の中に高齢者が増え続けている今、その人たちが安心して暮らすために高齢者の見守りに取り組む自治会があります。塩原温泉街にある「畑下自治会 地域住民助け合いの会」と、黒磯駅前の「宮町自治会 助け合いの会」。どちらも歴史ある地域で、昔はたくさん人が住んでいました。しかし、今では少子高齢化による人口減少が進み、地域に住む人の半数近くが高齢者となっています。

見守りを行うのは、自治会の役員だけではなく、地域の人たちや団体、事業所など多岐にわたります。見守りと言っても、定期的な訪問するのではなく、回覧板を置きに行きながら、家の前を通りながらの「ながら見守り」です。

「見守り」。見守りをする側もされる側も無理をせずに続けられているといえます。

### 地域支え合い推進員とともに

両自治会とも、社会福祉協議会が公設公民館に配置する「地域支え合い推進員」と一緒に活動しています。地域支え合い推進員とは、見守り活動や高齢者の居場所づくりが円滑に進むよう支援する地域のパートナーのことで、来年1月には全ての公民館に配置が完了する予定です。

見守り活動など困ったことがあれば、公民館の推進員へ相談が可能で、地域の課題を共に考え、解決に向けて力を貸してくれます。この心強い味方とともに、みんなで地域共生に向けて前進してみませんか。

参加しませんか

## 地域共生社会 シンポジウム

市民一人一人が主役となり活動していくために、地域共生社会シンポジウムを開催します。先進地の事例などが聞けるチャンスです。「地域の誰もが安心して暮らせる社会」の実現のために、自分たちができることは何かを一緒に考えてみませんか。

- ▶とき 2月8日(土) 午後1時30分~
- ▶ところ 三島ホール
- ▶内容 ①先進地事例発表 (栃木市岩舟地域住民会議代表)  
②パネルディスカッション
- ▶問い合わせ ☎社会福祉課 ☎0287(62)7031